

さばき

うらない

みなさんは、どんなことをうらなってみたいですか。  
思いついたことをつぎの空白に書いてください。

預言者  
よげんしゃ

聖書のなかにも、うらないをする人がでてきます。

なにかさがしものをしているときに、その人のところ  
にいつて、たずねることが、あたりまえのようでした。

しかし、聖書には、そうした人だけでなく、神から  
のいましめを人びとに伝える預言者がでてきます。

未来を予言することだけでなく、いまの生活をあらた  
めるように忠告します。

かみ  
神さまのさばき

神さまは、預言者の口をとおして、人びとにさばき  
を告げられます。せつかく、エジプトから導きだし、  
約束の地につれてきた人びとでも、ほろぼすと言われ  
ます。

神さまが、せっかく人びとを愛し、いろんなことをしたのに、かえって、人びとが豊かな生活をしだすと、神さまを忘れるようになったので、神さまは人びとをこらしめるために、ほろぼすと言われます。

しかし、神さまは、人びとがほろんでしまうことを望んでおられません。人びとが、神さまのことを思い出すように望んでおられます。神さまは、人びとを愛しているから、よけいに、自分のことを忘れた人びとを罰されるのです。

イスラエルの人びとは、国を滅ぼされて、バビロン

につれてゆかれたとき、反省して、神さまのことを思い出すようになりました。そして、むかしのことを思い出して、あとの子孫に伝えるために、聖書を書物として書き残すことにしました。

